広報 あさぎり

3月15日
No.291

発行所　麻生町1561－9
発行人　電話②0811㈹
印刷所

麻生町役場
小沼幸蔵
麻生印刷

〈人口〉

男	8,976人
女	9,106人
計	18,082人
世帯数	4,123戸

3月のメモ

1日　国保税・国民年金保険料徴収
4日　霞ケ浦・北浦清掃大作戦
6日　選挙管理委員会
10日　民生委員協議会
12日～20日　定例町議会
20日　農業委員会総会
21日　春分の日
28日　例月出納検査

麻生町長及び麻生町議会議員補欠の同時選挙

町長には現職の小沼氏が無投票当選

議員には茂木宗平氏

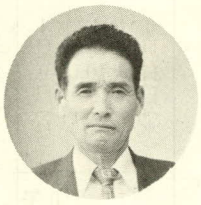
任期満了にともなう麻生町長選挙と麻生町議会議員補欠の同時選挙は、さる二月十日に告示され、翌十一日午後五時立候補届が締切られました。

小沼町長

町長選挙には、いったん立候補の届出をした阿見町の吉田　浩氏（63）が辞退届をして、ほかに立候補者がなかったため、現職の無所属・小沼幸蔵氏（67）が無投票により当選を決定しました。

小沼氏は、昭和四十二年に初当選して以来四期目で、今後四年間をつとめることになったものです。

一方、麻生町議会議員補欠選挙には、欠員一人のところ新人三人が届け出をして、十七日町内十六カ所の投票所で投票が行われ、午後七時三十分から麻生町役場で即日開票が行われました。


茂木議員

開票の結果、小高の無所属茂木宗平氏（56）が当選して昭和五十五年三月二日までの残任期間をつとめることになりました。

開票結果

得票数	茂木　宗平
三、〇七一票	斉藤　義太
一、三三六	額　正家
一、一九四	
（無効　一〇九票）	

投票所別投票率

投票所	有権者数	投票率
麻生第1	1,120人	29.7％
〃 2	1,509	31.9
〃 3	1,251	42.2
〃 4	353	33.1
太田第1	919	35.9
〃 2	529	33.3
大和第1	1,084	55.8
〃 2	1,008	23.1
〃 3	801	34.8
〃 4	522	54.4
行方第1	685	41.8
〃 2	685	57.4
〃 3	322	36.0
小高第1	1,117	64.5
〃 2	982	62.0
〃 3	414	52.9
合計	13,301	42.9

第二回臨時町議会

大和第二幼稚園を新設

昭和五十四年第二回臨時町議会が二月二十三日午後一時から開かれ、議席の一部変更について外大和第二幼稚園の新設にともなう麻生町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例等六議案が原案どおり可決されました。

〔議案第2号〕
議席の一部変更について
町議会議員の欠員一名を補欠選挙において補充したことにより、一部、議席を変更したものです。

〔議案第3号〕
議席の指定について
会議規則の規定にもとづいて、町議会議員補欠選挙で当選した茂木宗平議員の議席を一番に指定したものです。

〔議案第4号〕
常任委員の選定について
茂木宗平議員を総務委員会常任委員に選任し、議会の同意を求めたものです。

〔議案第5号〕
麻生町職員定数条例の一部を改正する条例
町職員定数のうち、教育委員会の事務部局の職員として幼稚園教諭および助教諭の定数十四人を十六人に改めたものです。

〔議案第6号〕
麻生町立小中学校設置条例の一部を改正する条例
これは、町立小高小学校と同島並分校が統合するにともない、島並分校が廃校となるため、議会の議決を求めたものです。

〔議案第7号〕
麻生町立幼稚園設置条例の一部を改正する条例
昭和五十四年四月一日より大和第二幼稚園を新設し、これにともなう職員をおくことについて条例で定めたものです。

茨城県知事選挙

投票日は四月八日（日）

任期満了にともなう茨城県知事選挙は、三月十四日（水）告示され、四月八日（日）に投開票が行われます。

なお、麻生町では、午前七時から午後六時まで町内十六カ所の投票所で投票が行われます。

ルールを守ってきれいな選挙に参加できるよう、みんなで心がけましょう。

一票が築く明るい わが郷土

投票には入場券を持って

投票に行くときは入場券を持参してください。入場券は区長さんを通じてあらかじめ有権者のもとに届けられますが、万一、紛失したりして入場券がない場合でも、選挙人名簿に登録されている方であれば、投票所の受付にその旨を申し出て入場券を交付してもらい、投票することができます。

就任のあいさつ

麻生町長　小沼幸蔵

このたび、任期満了にともなう麻生町長選挙におきましては、町民の皆さまのあたたかいご支援によりまして、無投票当選をさせていただきましたことは、このうえない栄誉であると心から厚くお礼申しあげます。

しかしながら数多くの事業目標のなかで、まだ残された事業もあり、これを完成すべく今後四年間を初心にかえり、さらに明るい町づくりのために全力投球していく覚悟でございます。

皆さまの深いご理解とご協力によりまして、町道の整備を初め教育施設の充実等を重点施策として、過去十二年間町政発展のため情熱を傾けてまいりました。

どうぞなお一層のご支援、ご指導をお願い申しあげます。

就任にあたりまして、ここにお礼かたがたごあいさつ申しあげる次第でございます。

農業機械安全利用のため講習会開かれる

近代農業機械の効率的利用と農作業の安全性を推進するため、町ではこのほど麻生町農業機械効率利用安全推進協議会（会長　小沼幸蔵）を設置しました。

また、同協議会では、さる二月六日、大字井貝において「農作業の効率と安全対策について」「定期点検実習について」等の講習会を行なったあと各種乗用トラクターやトレンチャーを利用しての模範実技を行ないました。

この講習会には、約百名の農家の方々が参加して、真剣な面もちで受講していました。

ことに大型農業機械化がいちじるしく進展していくなかで、今回の講習会がこれからの安全かつ効率的な農業経営に大いに役立つことでしょう。

模範実技のもよう

〔善〕〔意〕

善意銀行へ次の方が預託されました。

杉平の久保　衛さんは、四鹿・杉平和楽会へ五万円。

麻生の箕輪きくえさん・椎木はやさんは、本城長寿会へ各五千円。

矢幡の飯田敏雄さんは、矢幡福寿会へ一万円。

島並の高崎義興さんは、島並上・下老人会へ二万円。

島並の磯山　進さんは、島並上老人会へ五千円。

青沼の大里良之助さん・羽生瀬平さんは、青沼老人クラブへ各五千円。

蔵川の須賀くらさんはぞうきん百枚、小牧の箕輪功さんはマテバシイ十三本、篭田老人会はぞうきん百二十枚、新宮長寿会はぞうきん二百二十二枚、小牧老人会はぞうきん三百二枚、竹ほうき五十五本をそれぞれ大和第一小学校へ。

矢幡福寿会は、太田小学校へぞうきん百四十六枚。

麻生の羽生　勇さんは、麻生小学校へ布製母親文庫用貸出袋四百七十三枚。

小高の箕輪牧治さんは、小高老人クラブ長生会へ一万円。

行方の川嶋　勇さんは、行方幼稚園へ波動回転塔板取付。

国民健康保険「被保険者証」が新しくなります

―4月1日から―

現在皆さんが使用されている国民健康保険「被保険者証」は、三月三十一日で有効期限が切れます。四月一日からは新しい保険証でないと医療機関で受診することができませんのでご注意ください。

新しい保険証は、三月三十一日までに各持区の区長さんに依頼し旧保険証と引換えに交付していただきますので、旧保険証をあらかじめ手元に用意しておいてください。

なお、学生等で特別に保険証の交付を受けている方で引続き交付を受けたい方は、役場町民課国保係まで旧保険証を持参し、直接申請して、新たに交付を受けてください。

（学生の場合は、学校で在学証明書を受けて持参してください。）

家族そろって

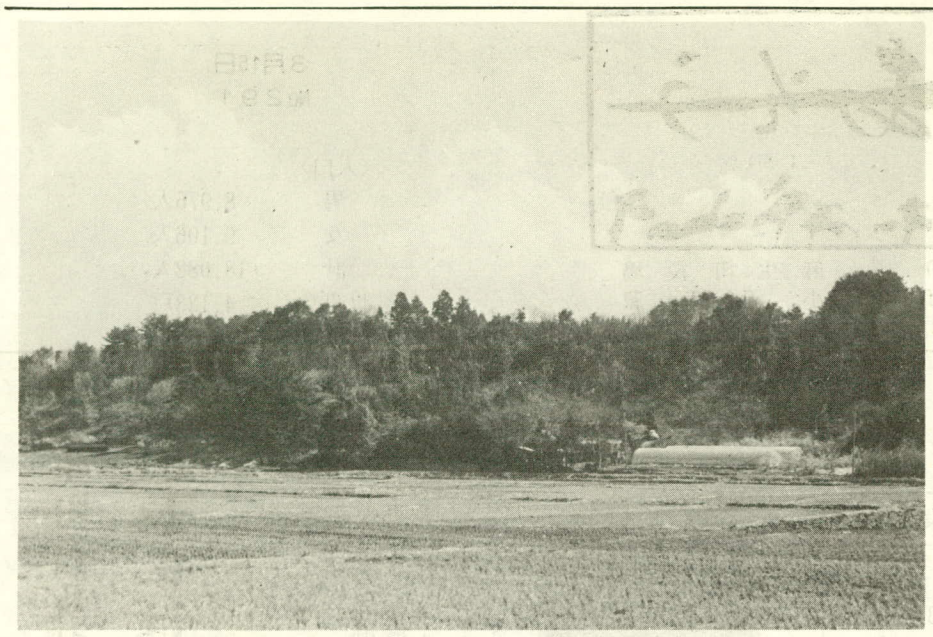
県民交通災害共済に加入しましょう

交通災害共済事業は、交通事故の多発化にともなう対策の一環として、全市町村が一体となり交通事故による災害を受けた住民を救済するために、昭和四十三年六月から実施している共済制度です。

現在、町では麻生地区交通安全母の会のご協力をいただき加入推進運動を展開中ですが、昨年の加入状況は四千四百人（学生も含む）であり、加入率二四・七％と、全世帯加入まで一層の推進運動を展開しなければなりません。

すでに、五十四年度の加入受付けを二月一日から開始しています。加入申込みの方法は、区長さんが配布した所定の申込書に記入のうえ、会費（一年間大人六百円、中学生以下三百円）を添えて役場町民課県民交通災害共済係へ申込む方法と交通安全母の会の各地区役員の方々を通じて申込む方法があります。

不慮の交通災害にあわれる方々が増えている現状から、ぜひこの機会に家族そろって加入されるようおすすめします。



矢幡要害台

ふるさとめぐり ㊶

矢幡要害台

矢幡の北浦湖岸道路から西に、ひときわ高く南北に長く延びた台地があります。

ここは、矢幡要害台で、天正年間（一五七三～一五九二）に島崎城主島崎左衛門尉が、時の敵軍佐竹勢を攻めるために築いたもので、天正十年（一五八二）には、佐竹の攻勢と激戦の地となったといわれています。

のちに、この地の一画に太田尋常小学校を建て、明治二十三年（一八九〇）、学校の運動場を拡張した際、塚から石棺を発掘し、中から戦死の武士二体の白骨が、島崎城の方向を頭（南枕）にして納められているのが発見されたといわれます。

麻の広場

矯正施設へ良書を贈る運動

麻生　茂木　米

私たち更生保護婦人会は、婦人の立場から地域の犯罪予防と犯罪者や非行少年の立直りを助ける仕事に協力して、犯罪のない明るい社会をつくるため奉仕活動をしている有志婦人の団体です。

私たちは、みんなで力をあわせて次代をになう青少年の非行を防止し、これが健かに成長するよう努力しなければならないと思います。刺激的な出版物に毒され、不幸にして非行に陥った青少年に心の糧となる良書を贈り、一日も早く本来の健康な身心を回復してもらいたいという願いから、矯正施設収容者や保護観察対象者に良書を贈る運動を県下いっせいに進めております。

この運動に行方郡下でも大勢の方々から一口百円以上の協賛金にご協力をいただきました。麻生町でも町長さん初め多くの皆さまにご協力をいただき厚くお礼申しあげます。

私たちのこの運動が、傷ついた青少年たちを一人でも多く立直らせることができますよう心から願っております。

心配ごと相談

皆さんのあたたかいご理解により、引続き心配ごと相談を開設していますが、これまで役場で行なっていたものを麻生町公民館に会場を変更しました。

相談についての秘密は一切守ります。どうぞお気軽にご利用ください。

日時　毎週木曜日
　　午後一時～三時
場所　麻生町公民館

婦人科ガンの検診は進んで受けましょう

「ガンになると助からない」といわれたのは昔のことで、早期に発見して正しい治療をすれば治る病気です。

しかし、それでも手おくれになると「不治の病」になることは今も変わりはありません。

婦人科ガンは、初めのうちは、はっきりした症状がないのが普通ですが、この時期に集団検診を受ければ容易に見つかるものです。

婦人科ガンの早期発見のため、年一回は進んで検診を受けましょう。

婦人科ガン検診実施期日

実施月日	受付時間	場所
4月9日(月)	午後0時30分～一時	公民館行方分館
4月10日(火)	〃	公民館大和分館
4月11日(水)	〃	麻生町公民館

電気通信施設工事にともなう土地の立入り

電気通信線路工事を実施するにあたり自然公有地や民地に立入り、踏み荒し、樹木の伐採等もあると思われますので関係者の方々のご協力をお願いします。

一、工事名
　麻生～行方間ケーブル方式工事（線路）
二、工事期間
　三月十二日から十二月二十七日
三、工事区間
　麻生町字玄通四二（麻生電話局）から県道水戸～鉾田～佐原線～県道芹沢～麻生線～町道（行方電話局）までの間
四、工事施工機関
　日本電信電話公社
　茨城電気通信部

小型船舶の操縦は免許を取って正しく

今年もまた水上レジャーのシーズンがやってきますが、海上での事故をなくして安心して船遊びが楽しめるように今から免許を取得してシーズンに備えましょう。

一、小型の船舶でも、すべて免許の対象です。

総トン数二十トン未満でエンジンを搭載している船舶を運転するには、小型船舶操縦士免許が必要です。

二、免許の種類は

乗り組む船舶の大きさ（総トン数）と航行する水域によって免許の種類が分かれますが、湖、川および指定海域で航行する総トン数五トン未満、エンジン十馬力未満の船舶には、湖川小型船舶操縦士の免許が必要です。

三、免許を取得するには

はじめに、直接、国家試験を受験する方法と、運輸大臣が認可した船舶職員養成施設で講習を受ける方法があります。国家試験を直接受験する場合、独学でも結構ですが、任意に各地で行われている受験者のための講習会で勉強してから受験される方が多いようです。また、船舶職員養成施設の講習を受ける場合、講習の最後にその養成施設が実施する修了試験（学科・実技）に合格すれば、国家試験のうち学科試験、実技試験が免除されます。

四、無免許運転は罰せられます。

もし無免許で船舶を運転したら、船長は五万円以下船主は三十万円以下の罰金を課せられます。

戸籍の窓口

おめでとうございます

出生者　世帯主　住所

諏訪　圭佑　進　麻生
小沼　弘道　忠次郎　〃
樽見　直志　昭　男　〃
金倉　敏和　福　〃
谷田川　覚　仙　知　矢幡
小嶋　慎吾　善　衛　〃
奈良崎　慎　武　蔵　川
高柳　瑞穂　英　雄　青沼
根本　達也　和　四　鹿
浜田　直人　なみ　於　下
阿部　順子　清之助　五町田
箕輪　圭治　三　郎　南

おくやみ申し上げます

死亡者　年令　世帯主　住所

柳町　盛86　好　雄　富田
永作　利雄56　繁　子　麻生
堀越格之助73年　男　石神
田口　水子85　山野誠　〃
小沢　とよ69　貞　夫　根小屋
羽生　直治64　瀬兵衛　青沼
茂木　きよ86　良　秋　船子

職員の異動

三月一日付で職員の異動がありました。（　）内は旧所属です。

議会事務局長礒山賢一（総務係長）　総務係長野村文男（財政係長）　財政係長宮内務（産業第二係長）　産業第二係長ー兼務ー箕輪　徳（産業第一係長）

俳句

雪解ける雫にぬくき日なりけり　鴨下　政隆
雪解けて一面青き麦畠　鴨下　透水
雪解の音も静かや炬燵猫　箕輪徳二郎
編み直すほつれ毛糸や沈丁花　橋本三四枝
朝市のなじみの店や沈丁花　関　よし

短歌

きさらぎの小波（さざなみ）かへす渚辺に
　芽吹く柳の色やはらかし　箕輪　登美
出でてゆく勤め持たねば雪の降る
　朝に安堵を覚ゆる侘し　高野　嘉
夕づきてひかりしずまる片屋根に
　残雪いまだ方形保つ　小沼　芳江
篭りゐる父と在る日の多くして
　語らいもなく食器を洗う　小沼　よね
大雪の白ひといろをうべなはぬ
　樹下の寸土にすずめ群れをり　箕輪徳二郎